

第3回高松市総合計画審議会

日時：令和5年9月19日（火） 18時30分～

場所：防災合同庁舎3階301会議室

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 次期高松市総合計画の名称と目指すべき都市像について
- (2) 次期高松市総合計画の策定経過と令和5年度行政評価結果について
- (3) 次期高松市総合計画基本構想案について
 - ・グループディスカッションによる検討結果について
- (4) その他

3 閉会

資料一覧表

- 資料 1 次期総合計画の名称と目指すべき都市像について
- 資料 2 次期高松市総合計画の策定経過
- 資料 3 令和 5 年度行政評価結果の概要
- 資料 4 第 2 回高松市総合計画審議会会議記録
- 資料 5 答申案に向けた素案
- 資料 6 委員御意見等記載用紙（様式）

その他

- ・次期高松市総合計画基本構想案
- ・第 6 次高松市総合計画

(1) これまでの計画の名称と目指すべき都市像について

計画の名称	計画期間	目指すべき都市像
高松市総合計画	昭和48年度 ～昭和60年度	平和と健康と教育の新しいふるさと高松
第2次高松市総合計画	昭和56年度 ～平成2年度	平和と健康と教育の新しいふるさと高松
第3次高松市総合計画	平成元年度 ～平成12年度	やさしさと豊かさ、 そして活力のある瀬戸の都・高松
新・高松市総合計画 たかまつ・21世紀プラン	平成12年度 ～平成23年度	笑顔あふれる 人にやさしいまち・高松
第5次高松市総合計画 新生たかまつ 人・まち 輝き ビジョン	平成20年度 ～平成27年度	文化の風かおり 光かがやく 瀬戸の都・高松
第6次高松市総合計画	平成28年度 ～令和5年度	活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松

計画の名称と目指すべき都市像

(2) 計画の名称について

基本構想：第7次高松市総合計画

副 題：たかまつ未来ビジョン

(3) 目指すべき都市像について

人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松

人がつどい 未来に躍動する 世界都市・高松

高松は、風光明媚で自然と都市機能が調和した海園・田園都市です。
その魅力をさらに磨き、活用しながら、まちづくりに取り組んでまいります。

魅力のあるまちには、いろいろな人が集まります。
観光で訪れる人、高松が好きで定期的に来る人、地域のイベントに参加する人、
移住してくる人、住み続ける人。

人が集まると人のつながりの環が生まれ、それぞれの個性が交わることで、
多様性のあるまちが形成されます。
多様な個性が交流するまちの中から、新しいアイデアを生み出す
創造やイノベーションが始まります。
それらがまちに活気をもたらし、まちは元気になります。

元気なまちは活力にあふれ、様々な産業が振興し、新たなビジネスが生まれます。
働く場も増え、好循環を繰り返していきます。
そして、未来に向けて躍動するまちとなっていきます。

元気なまちに住む人は、わがまちに誇りを持ち、愛着を感じ、
住み続けたいと思います。

暮らす人、訪れる人、それぞれが Well-being (※) な心地良さを感じる時、
高松は国内だけではなく、国外からも認知され、注目されるまちとなります。
そんな魅力あふれる「世界都市」を高松は目指します。

(※Well-being : 心身ともに満たされた状態を表す概念)

(1) パブリック・コメント

募集期間：7月1日（土）～31日（月） 意見件数 20件

(2) まちづくりタウンミーティング（全世代）

回数：3回

参加人数：71人

(3) まちづくりタウンミーティング（若い世代「大学生、高校生」）

回数：4回

参加人数：324人

次期高松市総合計画の策定経過

総合計画全体に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

No	内容
1	次期高松市総合計画基本構想素案作成に至った関連データを分かりやすく公開。（パブリック・コメント）
2	次期高松市総合計画と他の計画との関連性や意思決定スケジュールが分かる資料の添付。（パブリック・コメント）
3	社会情勢等の目まぐるしいスピードの変化に対応する為には、国や県の総合計画の様に5年が妥当。（パブリック・コメント） 次期高松市総合計画の計画期間が8年間は長い。（パブリック・コメント）
4	性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律に則った計画とすべき。（まちづくりタウンミーティング）
5	高齢者の情報共有が未だに紙媒体であるので、回覧版等の電子化を推進。（まちづくりタウンミーティング） 若者の県外流出について、幼少期から地域行事に参加している子ほど、帰ってくる割合が高い。（まちづくりタウンミーティング）
6	「DX」、「スマートシティ」など、横文字が増えており、分かりやすい表現にすべき。（まちづくりタウンミーティング） 人口減少、少子・超高齢社会が進行する中、財源の確保の取組、施設の取捨選択が重要。（まちづくりタウンミーティング） 子や孫に希望が持てる計画にしてもらいたい。（まちづくりタウンミーティング）
7	若い世代の地域への愛着の醸成。（まちづくりタウンミーティング）

次期高松市総合計画の策定経過

まちづくりの目標1に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

No	内容
1	子育て応援金の給付や出産時期の育児グッズ貸出など、子育て施策の充実。（パブリック・コメント）
2	親の状況に関係なく、保育園への入園。（パブリック・コメント）
3	障がい者が安心して暮らすには、ピアサポート活動など横のつながりが必要。（パブリック・コメント）
4	障がいのある人への取組として、情報交換の場が必要。（パブリック・コメント）
5	高松市立みんなの病院の人員体制の強化。（パブリック・コメント）
6	医療職、介護職などの賃金アップを全国に先駆けて実施。（パブリック・コメント）
7	保育所における、昼寝をするか、しないかを選択できるようにしてほしい。（パブリック・コメント）
8	高松市の放課後児童クラブの民間委託における市長の考えと方針の見直し。（まちづくりタウンミーティング）
9	これまでの延長線上ではなく、将来を見据えた先進的な子育て施策の推進。（まちづくりタウンミーティング） 重度のアレルギー者等への、ニーズに応じた対応。（まちづくりタウンミーティング）
10	多世代交流の取組の充実。（まちづくりタウンミーティング）
11	子ども食堂など子どもの居場所の充実。（まちづくりタウンミーティング）
12	デジタル技術を活用した医療提供体制の充実。（まちづくりタウンミーティング）
13	教育・保育現場の負担の軽減。（まちづくりタウンミーティング）

次期高松市総合計画の策定経過

まちづくりの目標2に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

No	内容
1	P47 現状と課題「学校教育」において「不登校、引きこもりの増加という現状」の記載。（パブリック・コメント）
2	子どもの権利条約を子ども自身が知る機会を提供することが必要。（パブリック・コメント）
3	幼少期からのキャリア教育の実施。（パブリック・コメント）
4	小学校のころから子どもに標準服を着せるのは反対。（パブリック・コメント） 制服等の校則を廃止し、子どもが標準服を着ることを半強制にしないようにしてほしい。（パブリック・コメント）
5	宿題を出すのをやめ、宿題をするかしないかを選択できるようにしてほしい。（パブリック・コメント） 強制的に出される宿題に意味がない。（パブリック・コメント）
6	「早寝早起き朝ごはん」の取組は、現代の多様なライフスタイルとあっていない。（パブリック・コメント）
7	小中高校生の中に、市の取組について知る機会の確保。（まちづくりタウンミーティング）
8	小中高校で、自分の住んでいる地域について知ることができるよう、総合的な学習の時間の充実。（まちづくりタウンミーティング）
9	子どもの頃から地域活動を行い、地域への愛着を深めることが重要。（まちづくりタウンミーティング）
10	子どもたちに対して工芸品等の高松の文化を教育していくべきであり、体験型のワークショップやイベントを取り入れると良い。（まちづくりタウンミーティング）
11	外国人にも住みやすいまちになるための取組の充実。（まちづくりタウンミーティング）
12	教育現場の働き方改革。（まちづくりタウンミーティング）
13	子どもが地域とつながることのできる取組の充実。（まちづくりタウンミーティング）

次期高松市総合計画の策定経過

まちづくりの目標3に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

No	内容
1	スケートボードやBMXなど、都市型スポーツができる施設の整備。（まちづくりタウンミーティング） 市民プールの再整備。（まちづくりタウンミーティング）
2	高松ならではの歌詞を募集し、流行歌を作曲。（まちづくりタウンミーティング） 菊池寛の功績の周知。（まちづくりタウンミーティング）
3	産業振興や企業誘致などが重要。（まちづくりタウンミーティング）
4	人口減少、少子・超高齢者社会の進行、東京一極集中が課題。（まちづくりタウンミーティング） 幼少期から、高松で暮らす周囲の大人との関係を上手に築き、高松市への愛着を醸成することが重要。（まちづくりタウンミーティング） 他の自治体競争に埋没しないように、「高松で何が体験できるのか」、「高松では、このようなものが手に入る」というようなことをアピールしていくことが重要。（まちづくりタウンミーティング）
5	市内の企業に高校に出向いてもらい、会社説明会の実施。（まちづくりタウンミーティング）
6	高松の魅力を知らないことが、若い世代の人口流出の原因。（まちづくりタウンミーティング）
7	地域資源をいかした観光振興。（まちづくりタウンミーティング）
8	観光コンテンツの発掘。（まちづくりタウンミーティング）
9	高校生・大学生をターゲットに企業の魅力や育児制度などを発信。（まちづくりタウンミーティング）
10	若者が高松の魅力を改めて感じられる機会の創出。（まちづくりタウンミーティング） 市内の多様な企業とのマッチングを促進。（まちづくりタウンミーティング）
11	公園や美術館等を身近に感じてもらえるようなイベントの開催（まちづくりタウンミーティング）

次期高松市総合計画の策定経過

まちづくりの目標4に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

No	内容
1	地震等による被災者の生活の安定に寄与する地震保険の普及促進に努め、その内容の追記を検討。（パブリック・コメント）
2	幼少期からの交通マナー教室などの実施。（パブリック・コメント）
3	暴走族の規制。（まちづくりタウンミーティング）
4	高学年の子どもが遊べる施設や公園の整備。（まちづくりタウンミーティング）
5	休日等に中心市街地にある駐車スペースを公園に変える取組の推進。（まちづくりタウンミーティング）
6	超高齢化社会に向けた、新しいかたちのお墓（地下カロート）の整備。（まちづくりタウンミーティング）
7	道路インフラの補修・メンテナンスへの予算配分。（まちづくりタウンミーティング） 歩道はバリアフリーの視点で修繕していくことが必要。（まちづくりタウンミーティング）
8	中央公園の再整備計画について、カフェや可動式の椅子、机の設置など解放感のある空間づくり。（まちづくりタウンミーティング）
9	道路脇に休める場所の確保。（まちづくりタウンミーティング）
10	交通事故死者数の減少に向けた取組の充実。（まちづくりタウンミーティング）
11	防災意識の向上（まちづくりタウンミーティング）
12	子どもが自由に遊べる公園の整備。（まちづくりタウンミーティング）

次期高松市総合計画の策定経過

まちづくりの目標5に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

No	内容
1	中心市街地にドックランの設置。（まちづくりタウンミーティング）
2	ことでん琴平線の踏切において、警報機が鳴らず、遮断機が下りないまま列車が通過する事案が発生したので、高松市としても、ことでんに対し、安全面に対する指導を徹底。（まちづくりタウンミーティング） サンポートエリアは、現在、駅ビルの開発等行っており、今後、更々にぎわってくるので、イベントの開催や観光PRを積極的に検討。（まちづくりタウンミーティング）
3	人口減少社会が進行する中、公共交通を維持していくために、完全自動運転の導入を目指してもらいたい。（まちづくりタウンミーティング）
4	給水スポットの設置拡大。（まちづくりタウンミーティング）
5	超高齢社会に対応した公共交通機関の充実。（まちづくりタウンミーティング）
6	中心市街地の座れる場所の確保。（滞在につながり、ゆとりのある歩行空間になる。）（まちづくりタウンミーティング）
7	市民に知ってもらえる、必要としてくれる活動の継続。（まちづくりタウンミーティング）
8	海洋ゴミの削減が重要。（まちづくりタウンミーティング）
9	県立アリーナを活用したにぎわい創出。（まちづくりタウンミーティング）
10	子育て世帯にも利用しやすい公共交通機関の充実。（まちづくりタウンミーティング）

次期高松市総合計画の策定経過

まちづくりの目標6に対する意見（パブリック・コメント、まちづくりタウンミーティング）

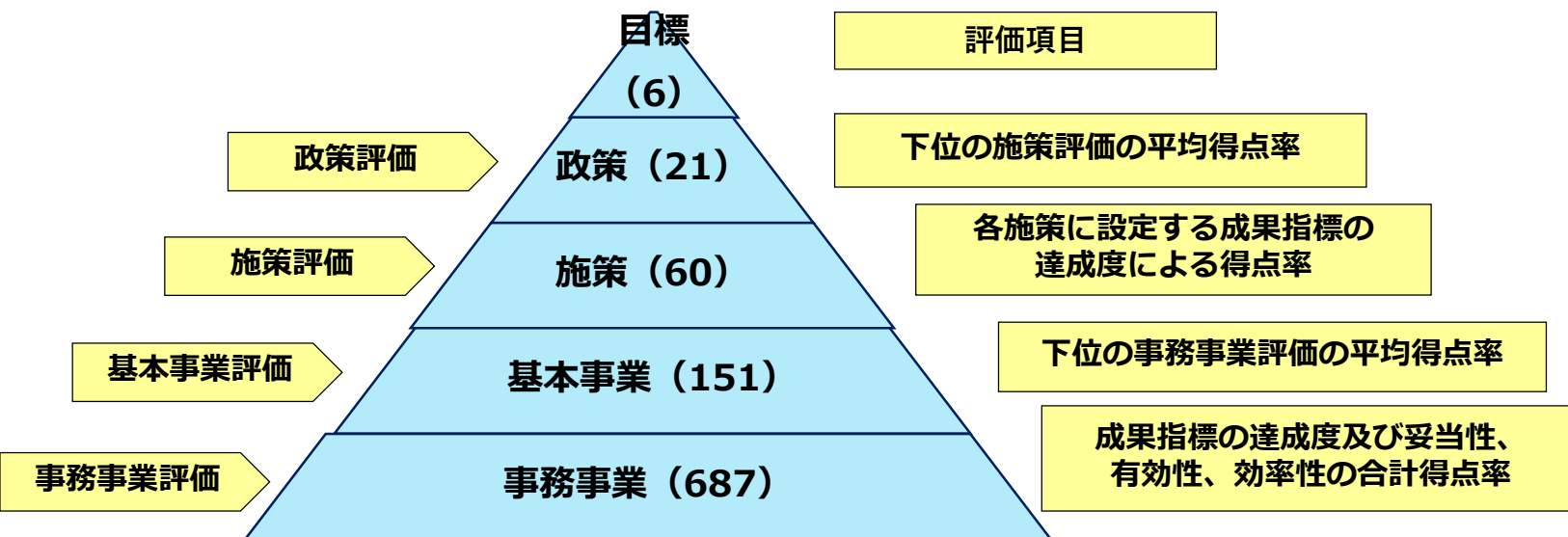
No	内容
1	スマートシティの推進を始め、各種施策を実施する上で、専門家の知恵を借りるべき。（パブリック・コメント）
2	若者の県外流出という課題の解決に向け、人の魅力、人の温かさ、コミュニティのつながりを高めていくことこそが重要。（まちづくりタウンミーティング）
3	公共施設を活用した地域の拠点を整備。（まちづくりタウンミーティング）
4	地域資源を最大限に生かして、ひと・もの・ことが相互に繋がりに合うコミュニティの整備。（まちづくりタウンミーティング） 高松の魅力を市民に発信することで、市民にとっても高松が魅力的なまちだ感じてほしい。（まちづくりタウンミーティング） あらゆる場所で、人と人がつながることのできる環境の整備。（まちづくりタウンミーティング） 道端で人が話し合えるような空間づくり。（まちづくりタウンミーティング）
5	離島の医療・介護体制の充実。（まちづくりタウンミーティング）
6	デジタル技術を活用したシェアリングエコノミーの普及が重要。（まちづくりタウンミーティング）
7	地域が好きだっただけの高校生から地域を変えられる高校生になることが重要（まちづくりタウンミーティング）
8	高松をよりよくするために地域の人達ともっと関われる施設の充実。（まちづくりタウンミーティング）

令和5年度（令和4年度決算分）行政評価結果について

1 行政評価の概要

- 本市では、限られた財源の下で、持続可能なまちづくりを進めるため、市政運営を総合的に捉えるマネジメントシステムとして、行政評価システムを平成21年度から段階的に導入し、23年度から本格実施
- 総合計画の的確な進行管理、施策や事業の優先化、重点化を図るためのツールとして、6つのまちづくりの目標の下に構成される政策・施策・基本事業・事務事業について評価を実施

目指すべき都市像
活力にあふれ 創造性豊かな 瀬戸の都・高松



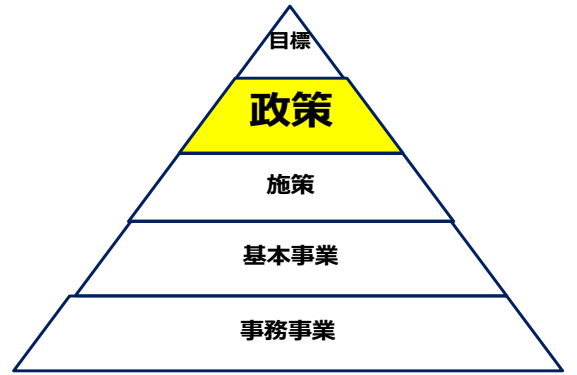
※各階層ごとに得点率をA～Dの4段階に区分

得点率	総合評価
86%～	A
71%～85%	B
56%～70%	C
～55%	D

2 令和5年度行政評価の概要

(1) 政策評価

- ア 評価対象 : 第6次高松市総合計画に定める全21政策
- イ 評価者 : 市長
- ウ 評価方法 : 下位の施策評価の平均得点率により評価
- エ 評価結果一覧



まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	1 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	3
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	1 (2)	1 (0)	1 (1)	1 (1)	4
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	0 (0)	2 (1)	1 (1)	2 (3)	5
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	2 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	3
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	2 (1)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	3
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	1 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (1)	3
計	7 (7)	8 (7)	3 (2)	3 (5)	21
割合	33.4% (33.4%)	38.0% (33.4%)	14.3% (9.5%)	14.3% (23.7%)	100%

※ () 内は令和4年度評価

A評価（7政策）

- ・健康で元気に暮らせる環境づくり
- ・男女共同参画社会の形成
- ・環境と共生する持続可能な循環型社会の形成
- ・豊かな暮らしを支える生活環境の向上
- ・コンパクトで魅力ある都市空間の形成
- ・拠点性を発揮できる都市機能の充実
- ・相互の特長をいかした多様な連携の推進

C評価（3政策）

- ・心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成
- ・文化芸術の振興と発信
- ・参画・協働によるコミュニティの再生

B評価（8政策）

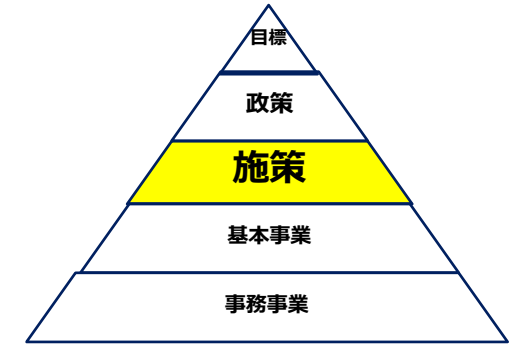
- ・子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実
- ・支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成
- ・社会を生き抜く力を育む教育の充実
- ・地域を支える産業の振興と経済の活性化
- ・訪れたい観光・MICE（マイス）の振興
- ・安全で安心して暮らせる社会環境の形成
- ・快適で人にやさしい都市交通の形成
- ・健全で信頼される行財政運営の確立

D評価（3政策）

- ・基本的人権を尊重する社会の確立
- ・元気を生み出すスポーツの振興
- ・国際・国内交流の推進と定住の促進

(2) 施策評価

- ア 評価対象 : 第6次高松市総合計画に定める全60施策
 イ 評価者 : 各施策に置かれる評価担当局の局長
 ウ 評価方法 : 成果指標(最大3指標)の達成度を得点化
 エ 評価結果一覧



まちづくりの目標	A	B	C	D	計
1 健やかにいきいきと暮らせるまち	6 (6)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	9
2 心豊かで未来を築く人を育むまち	4 (6)	3 (1)	1 (2)	2 (1)	10
3 産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	3 (3)	1 (0)	4 (2)	3 (6)	11
4 安全で安心して暮らし続けられるまち	13 (11)	3 (3)	1 (2)	0 (1)	17
5 環瀬戸内海圏の中核都市としてふさわしいまち	4 (4)	2 (1)	1 (2)	0 (0)	7
6 市民と行政がともに力を発揮できるまち	2 (2)	2 (2)	0 (0)	2 (2)	6
計	32 (32)	13 (9)	7 (8)	8 (11)	60
割合	53.3% (53.3%)	21.7% (15.0%)	11.7% (13.3%)	13.3% (18.4%)	100%

※ () 内は令和4年度評価

- ・子どもの成長への支援
- ・地域包括ケアシステムの構築
- ・医療体制の充実
- ・男女共同参画の推進
- ・子どもの安全確保
- ・農林水産業の振興
- ・観光客受入環境の整備
- ・交通安全対策の充実
- ・消費者の権利保護と自立促進
- ・廃棄物の適正処理
- ・居住環境の整備
- ・河川・港湾の整備
- ・水の安定供給
- ・多核連携型コンパクト・エコシティの推進
- ・拠点性を高める道路ネットワークの整備
- ・連携の推進
- ・地域福祉の推進
- ・障がい者の自立支援と社会参加の促進
- ・社会保障制度の適切な運営
- ・学校教育の充実
- ・大学等高等教育の充実
- ・就業環境の充実
- ・防災・減災対策の充実
- ・防犯体制の整備
- ・ごみの減量と再資源化の推進
- ・不法投棄の防止
- ・身近な道路環境の整備
- ・みどりの保全・創造
- ・汚水・雨水対策の充実
- ・景観の保全・形成・創出
- ・中心市街地の活性化
- ・効率的で効果的な行財政運営の推進

B評価（13政策）

- ・子育て家庭への支援
- ・学校教育環境の整備
- ・平和意識の普及・高揚
- ・消防・救急の充実強化
- ・環境保全活動の推進
- ・拠点性を高める交通網の整備と利用促進
- ・職員力の向上
- ・健康づくりの推進
- ・家庭・地域の教育力の向上
- ・商工業の振興
- ・地球温暖化対策の推進
- ・公共交通の利便性の向上
- ・地域コミュニティの自立・活性化

C評価（7政策）

- ・生涯学習の推進
- ・文化芸術の振興
- ・移住・交流の促進
- ・自転車の利用環境の向上
- ・特産品の育成・振興とブランド力の向上
- ・観光客誘致の推進
- ・生活衛生の向上

D評価（8政策）

- ・生活困窮者等への自立支援
- ・人権尊重意識の普及・高揚
- ・スポーツの振興
- ・参画・協働の推進
- ・青少年の健全育成
- ・文化財の保存・活用
- ・国際・国内交流の推進
- ・離島の振興

まちづくりの目標1「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち」

1 施策体系について（キーワード含む）

--

2 政策について

課題	方向性
<p>1 子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成</p> <p>●子育て支援、●子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭と地域が分断されており、地域を巻き込んだ子育て対策が必要 ・子育ての在り方が多様となっており、多様性のある子育て支援が必要 ・多世代が連携・協力する子育て支援が必要 ・LGBTの子育てについての視点の記載がない ・出生後の取組についての記述は多いが、出生前の視点の記述が少ない ・子どもを持たない・持たない方（人生）の子育てへの参画の視点がない ・養子縁組の視点がない 	<p>1 子どもが健やかに生まれ育つ社会の形成</p> <p>●子育て支援、●子どもの成長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ「社会全体での子育て支援、子育て家庭を支えていく」仕組みづくり ・キーワード：「子育てを通じた多世代交流」、「多様性のある子育てスタイル」が挙げられる。

3 施策について

方向性

1-1子育て支援の充実、1-2子どもの成長への支援

- ・ LGBTの子育てへの参画
- ・ 出生前からの妊産婦の支援が必要
- ・ 子どもがいる人・いない人の別なく子育てへの関わり
- ・ 養子縁組のハードルを下げるような国への働きかけ

2-1 地域共生社会の構築

- ・ 企業が参画しやすい体制づくり
- ・ こども食堂での多世代交流

2-2 高齢者福祉の充実

- ・ 地域共生、高齢者の社会参加、多世代の繋がりづくり
- ・ 孤立化した人へのアクセスの手法づくり

3-1 健康づくりの推進

- ・ がん検診の声かけ、顔の見える関係づくり

4 その他（その他の施策含む）

- ・ 年齢や性別等に関係なく意見を反映
- ・ 若い世代の意見を聞く
- ・ 出張所が不便になった
- ・ 自治会や地域の繋がりが希薄になった
- ・ 市外、県外、海外の人の参加
- ・ デジタルデバイド対策
- ・ 地域コミュニティで全世代の交流

まちづくりの目標2「人が育ち、多様な生き方が尊重されるまち」

1 施策体系について（キーワード含む）

- まちづくりの目標「人が育ち」とは、誰の視点か（育てる側でなく、育つ側？）。行政にとっても市民にとっても主体的なニュアンスが出ていない。市民がまちづくりに参画する意欲が高まるような表現にするべき。
- まちづくりの目標から政策・施策に展開する上で言葉がつながっておらず、メッセージ性がないと感じる。施策体系の文言や配置・並びについてどう考えたのか（現行計画を踏襲し、上からでなく下から考えたのではないか）。
- 施策名も、焦点がぼやけている。市として何がやりたいか、何に注力したいか、明確に分かるものにするべき。
- 個別の文言への疑義
 - ・（政策1）「輝く」は市の政策の方向性を表した言葉か？
 - ・（政策2）「生涯」はテーマが明確でない。「人生100年時代」に対応する政策であることを示すべき。
 - ・（政策3）「多様性を尊重する社会」は大きすぎ、「～を尊重するまち」が適当。
 - 施策1 「意識の普及」とは怖い表現。通常、意識は「醸成」するもの。
 - 施策2 「誰もが活躍できる環境」は、「誰もが活躍できる場」が適当。

2 政策について

課題	方向性
<p>1 一人ひとりが輝く教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育 ● 教育環境 <p>2 生涯を通じて学び合う教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭・地域の教育力 ● 生涯学習 <p>3 多様性を尊重する社会の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人権・平和 ● 多様性の尊重 	<p>1 一人ひとりが輝く教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校教育 ● 教育環境 <p>2 生涯を通じて学び合う教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 家庭・地域の教育力 ● 生涯学習 <p>3 多様性を尊重する社会の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人権・平和 ● 多様性の尊重

3 施策について

方向性
<p>1-1 学校教育の充実</p> <p>1-2 学びを支援する教育環境の充実</p> <p>2-1 家庭・地域の教育力の向上</p> <p>2-2 生涯学習の推進</p> <p>3-1 人権尊重・平和意識の普及・高揚</p> <p>3-2 誰もが活躍できる環境の形成</p>

4 その他（その他の施策含む）

- ・若者に地元の良さや地元の仕事を知ってもらうには、高校生対象では遅い。小中学生を対象とした取組が必要。
- ・多様性・平和の実現に向けては、対話が重要。

まちづくりの目標3「魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち」

1 施策体系について（キーワード含む）

--

2 政策について

課題	方向性
<p>1 人と活力であふれる産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none">● 商工業・企業誘致<ul style="list-style-type: none">・あらゆる分野で人材が不足しており、今後、どのように人材確保に取り組んでいくのか。・ワークライフバランスを実現した働き方の確保。・交通業界も人手不足であるが、外国人ドライバーを国は受け入れる気があるとは思えず、地方から国にプッシュしてもらわないと解決しない。● 農林水産業● 就業環境の充実<ul style="list-style-type: none">・行政として人材確保への支援が必要（外国からやって来た人の住居の支援や雇用した企業に対する支援）	<p>1 人と活力であふれる産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none">● 商工業・企業誘致<ul style="list-style-type: none">・今後数年は経営者の高齢化傾向が続き、経営者の世代交代も重要と考えられることから、起業・創業支援に加え、事業承継・引継ぎの支援にも言及していただきたい。● 農林水産業● 就業環境の充実

課題	方向性
<p>2 地域活力の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブランドカ <ul style="list-style-type: none"> ●観光交流 ●移住定住 <p>3 文化芸術・スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術 ●スポーツ 	<p>2 地域活力の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ブランドカ <p>「地域活力の創造」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●観光交流 ・MICEを強かに推進していくという決意表明が必要。 ●移住定住 <p>3 文化芸術・スポーツの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術 ●スポーツ

3 施策について

方向性

1-1 商工業の振興

- ・起業・創業支援に加え、事業承継・引継ぎの支援

1-2 農林水産業の振興

1-3 就業環境の充実

2-1 高松ブランドの向上

- ・SNSや口コミの活用
- ・インフルエンサーの活用
- ・Z世代よりもお金を持っている中高年にいかに来てもらうか？富裕層もターゲットに

2-2 観光振興と交流の推進

- ・コロナ禍で実施していた旅行支援を高松だけでも実施してみてもどうか
- ・団体旅行よりも、少人数で楽しんでもらえる人をターゲットに、どのようなおもてなしをするかという戦略に切り替える必要。
- ・塩江は宝庫であり、奥の湯エリアの活用
- ・県立アリーナは、MICE誘致を見据えた運用の在り方を検討すべき。
- ・玉藻城が再建されれば水城、サンポート、瀬戸内海、島が連なり、世界的に注目される場所になり得る、水城通りを閉鎖し、台湾のような夜市を開催して、市民の憩いの場にすれば良いのではないかと。

2-3 定住人口の拡大

3-1 文化芸術の創造と継承

3-2 スポーツの振興

- ・市民がスポーツを行う素地が大きく、生業にしている人も多いことから、それを活用した取組が必要。

4 その他（その他の施策含む）

- ・記載内容をいかに実現するかが重要。
- ・官民連携をしていく上では、検討過程からお互いに議論した方が、良い取組ができる。行政のみが考えた施策を実行しても、民間とのギャップがる。
- ・戦略が無い、戦略は若い人が立てるべき。
- ・もっと民間の施設や資源をどう活用するかを考えたほうが、安くすむのではないか。
- ・無理して網羅的に実施するよりも、本当に困っている人・分野に絞って行うべき。
- ・現行総合計画では財政状況への言及があるが、次期総合計画では無くても良いのか。

まちづくりの目標4「安全・安心に暮らせるまち」

1 施策体系について（キーワード含む）

--

2 政策について

課題	方向性
<p>共通</p> <ul style="list-style-type: none">・人口減少社会の進行による既存組織の維持、活性化・地縁組織に頼った組織づくりの限界 <p>1 災害・パンデミックに強い社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none">・新たな感染症拡大時の体制と人の確保 <p>●防災・減災</p> <ul style="list-style-type: none">・共助にあたる自主防災の体制の確保・人口減少社会における自主防災組織の在り方を検討していくことが必要・高齢化による担い手不足を見据えた、自主防災組織の機能の維持 <p>●健康危機管理</p> <ul style="list-style-type: none">・新たな感染症拡大時の対応・人口減少社会の進行に伴う人材不足・医療現場と行政との医療提供体制の感覚の乖離・災害が少ない地域であるからこそ公助に頼る市民意識	<p>共通</p> <ul style="list-style-type: none">・人口構造が変化することを見据えた新たなモデルづくり <p>1 災害・パンデミックに強い社会の形成</p>

課題	方向性
<p>2 安全・安心が守られる社会環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消防・救急 <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員の定数割れ ・ 人口減少社会における消防団の在り方の見直し ●安全・安心な暮らし <ul style="list-style-type: none"> ・ 若年層が犯罪等のトラブル巻き込まれることのないような対策 ●生活衛生 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度行政評価の結果の改善 ・ 全国と比較しても高い犬・猫の殺処分率の改善 ・ 殺処分の増える要因分析 ・ 高齢者世代の多死化に備えた準備 <p>3 暮らしを支える生活環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●居住環境 <ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家、空きマンションの増加 ●道路・橋りょう <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化社会の進行（自転車利用者の減少、バリアフリー化）などを踏まえた道路環境の在り方検討。 ●景観形成・公園緑地 ●污水対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 税収の減少を踏まえたインフラの維持・確保 	<p>2 安全・安心が守られる社会環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●消防・救急 ●安全・安心な暮らし ●生活衛生 <p>3 暮らしを支える生活環境の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●居住環境 ●道路・橋りょう ●景観形成・公園緑地 ●污水対策

3 施策について

方向性

1-1 防災・減災対策の充実

- ・女性の自主防災組織の在り方の検討

1-2 健康危機への対応力の強化

2-1 消防・救急体制の充実

- ・消防団員の確保、地縁に頼らない組織の維持

2-2 安全・安心な暮らしの確保

- ・交通死亡事故対策は深掘した記載が必要
- ・行政がサポートすべき
- ・犯罪被害者支援条例の制定

2-3 生活衛生の向上

- ・犬猫の繁殖の抑制（助成額の見直し）と譲渡の促進
- ・多死社会に備えた、火葬場や墓地の確保

3-1 居住環境の充実

- ・64P「集約型の都市構造への転換」という表現が分かりにくい。実施計画では、具体的に記載すべき。
- ・独居高齢者対策の充実

3-2 道路・橋りょうの整備

- ・税収の減収を踏まえたインフラの維持・確保策

3-3 景観形成の推進

- ・アートシティを意識した景観形成

3-4 污水対策の推進

4 その他（その他の施策含む）

- ・「安全・安心に暮らせるまち」は、重要度は高い、一方で、緊急度が低いと見られがちなので、施策が後手後手にならないよう先を見据えて取り組むことが必要。
- ・シビックプライドの醸成は、既存組織の活性化を含め、あらゆる分野につながるので、今後、市の施策として重要。
- ・社会貢献したい若い世代の増加。
- ・高齢者のボランティア参加、子育て支援希望者への援助
- ・「渇水」というキーワードは必要ないか。
- ・多文化の共生、多様性を尊重する社会の形成が重要。（あらゆる分野に関係）
- ・外国人を労働力としてみるのではなく、人権を尊重する社会を形成していくこと。
- ・外国人定住者の支援体制が必要。
- ・小型バス、乗り合いタクシーの利用促進支援。

まちづくりの目標5「都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち」

1 施策体系について（キーワード含む）

特になし

2 政策について

課題	方向性
<p>1 機能性の高い都市空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none">● コンパクトシティの推進・ 都市経営コストが非効率な土地利用 （郊外部における農地の宅地化が加速）・ 衰退する郊外部の商店街・ 空き家への対応 <p>● 中心市街地の活性化</p> <ul style="list-style-type: none">・ 空き店舗への対応	<p>1 機能性の高い都市空間の形成</p> <ul style="list-style-type: none">● コンパクトシティの推進・ 自然の豊かさと都市としての便利さを活かした土地利用の最適化・ 長期的な視点を持ったまちづくり <p>● 中心市街地の活性化</p> <ul style="list-style-type: none">・ 中心市街地の活性化を担う若者に対する安価な住環境の構築

課題	方向性
<p>2 交流・連携を支える都市交通の充実</p> <p>●地域交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過度な自動車依存（特に中心部の自動車による渋滞解消） ・夜間において低下する公共交通サービスの向上 ・高齢者・子どもなど、交通弱者の公共交通へのアクセス確保 ・鉄道等の公共交通までのアクセスを支える自転車の利便性向上 ・公共交通の利便性向上の取組に対するPR（市民満足度の低下の要因は広報不足） <p>●広域交通ネットワークの充実</p> <p>3 環境と共存する脱炭素社会の実現</p> <p>●ゼロカーボンシティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsへの理解を深める啓発 <p>●循環型社会の形成</p>	<p>2 交流・連携を支える都市交通の充実</p> <p>●地域交通ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要に対して最適化された公共交通サービスの提供 ・公共交通の利便性向上、モビリティ・マネジメントによるモーダルシフト <p>●広域交通ネットワークの充実</p> <p>3 環境と共存する脱炭素社会の実現</p> <p>●ゼロカーボンシティの実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素に資するモーダルシフト <p>●循環型社会の形成</p>

3 施策について

方向性

1-1 コンパクトシティの推進

- ・ 駅周辺（拠点）の活性化
- ・ 郊外部の農地（緑）化
- ・ 買い物難民への対応

1-2 中心市街地の活性化

- ・ 空き家等（既存ストック）のリノベーション（有効活用）

2-1 地域交通ネットワークの充実

- ・ レンタサイクルの利用サービス向上（どこでも借りて返せる環境構築）
- ・ 自転車利用のマナーアップ、安全指導（教育的なアプローチ）
- ・ コミュニティ交通の推進

2-2 広域交通ネットワークの充実

- ・ 地域高規格道路の整備（通過交通と域内交通の分離）

3-1 ゼロカーボンシティの実現

- ・ 子ども、大人それぞれに対するSDGsの教育
（子どもの意識が変わり、大人の意識も変える）

3-2 循環型社会の形成

3 その他（その他の施策含む）

【全体として】

課題：行政も稼ぐ視点が必要

 都会への若者の流出

 デジタルデバイドへの対応

方向性：施策の優先順位付け

 雇用の創出、若者が子育てしやすい環境づくり

 若者へのデジタルを活用した一元的な情報提供

まちづくりの目標6「さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち」

1 施策体系について（キーワード含む）

--

2 政策について

課題	方向性
<p>1 地域社会を支える連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none">● コミュニティ<ul style="list-style-type: none">・ 自立のための仕組みづくりや世代交代が必要● 参画・協働<ul style="list-style-type: none">・ 専門性のあるガバナンス(統治、管理、支配)の効いたNPOの育成・ NPO法人の育成・ NPOが地域づくりに一層参画できる仕組みづくり● 離島振興● 多様な主体との連携 <p>2 自立的で推進力のある行財政運営の確立</p> <ul style="list-style-type: none">● スマートシティ<ul style="list-style-type: none">・ デジタル化の恩恵を市民に分かりやすいように見える化すべき● 行財政運営	<p>1 地域社会を支える連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none">● コミュニティ<ul style="list-style-type: none">・ 地縁組織(地域コミュニティ)とテーマ型NPO活動の協働推進・ 世代間、地域間等の相互理解の促進● 参画・協働<ul style="list-style-type: none">・ 地域力、市民力の向上(人材育成、人づくり)● 離島振興● 多様な主体との連携 <p>2 自立的で推進力のある行財政運営の確立</p> <ul style="list-style-type: none">● スマートシティ● 行財政運営

3 施策について

方向性

1-1 地域コミュニティの自立活性化

- ・組織の透明性を高め、自主財源を確保するためにNPO法人への組織改編することを積極的に支援する

1-2 参画・協働の推進

- ・市民活動センターの相談機能やアウトリーチの強化

1-3 離島の振興

1-4 連携の推進

2-1 スマートシティの推進

2-2 行財政運営の基盤強化

- ・社会情勢の変化を踏まえ、重点的に取り組む施策の取捨選択が重要

3 その他（その他の施策含む）

- ・市民の出番づくり、市民の活力とNPOの専門性を活かす、当事者へのエンパワメント(力を与えること。自立性促進など)、次世代の人づくり
- ・総合計画に基づいた中長期的な評価指標の策定

答申案に向けた素案

まちづくりの目標1「誰もが自分らしく健やかに暮らせるまち」

政策「子どもが生まれ育つ社会の形成」

次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育んでいくという目標を地域社会全体で共有・実践できるよう、地域社会がつながり合う仕組みづくりや子どもと子育て家庭を支援する取組を充実させること。

また、誰もが安心して妊娠、出産、子育てできる環境づくり、子どもたちが身近に安心して過ごせる居場所の提供、子どもを中心とした多世代交流の推進などに取り組むこと。

核家族化の進行や地域とのつながりの希薄化など子育て環境が多様化しており、多様な人材も活用しながら、学習や体験の機会を創出すること。

政策「支え合う福祉社会の形成」

高齢者福祉に関して、超高齢社会に対応するため、保健、医療、福祉や地域の連携協力の下、地域包括ケア体制の充実や地域共生社会の構築に取り組み、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できる施策の展開を図ること。

地域福祉の中心的な役割の担い手の不足や高齢化が課題であるため、新たな担い手の育成や安定的な確保、住民相互の助け合い・支え合いの取組を推進することにより地域共生社会の構築を一層、推進すること。

政策「心身ともに健康に暮らせる社会の実現」

人生100年時代においても、生活の質が充実して健康で元気に暮らせるよう、健康寿命の延伸に向けた取組や医療体制を充実させる取組を推進すること。

まちづくりの目標 2「人が育ち、多様な生き方が尊重されるまち」

政策「一人ひとりが輝く教育の充実」

学校教育の充実に関して、子どもの確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むため、子ども一人一人に応じた、きめ細かな指導に取り組むこと。

政策「生涯を通じて学び合う教育の充実」

学校・家庭・地域それぞれが適切な役割分担を果たし、相互に連携しながら、社会全体で子どもを守り育てていく環境づくりに取り組むこと。

生涯学習に関しては、多様化する市民の学習意欲に応え、学びの成果の活用を促進するため、各種取組を充実させること。

政策「多様性を尊重する社会の確立」

年齢や性別、国籍、障がいの有無に関わらず、全ての市民が個性と能力を發揮できる、基本的人権や多様性が尊重される地域社会をつくっていくこと。

外国籍の市民が増加する中、国籍の違いに関わりなく、市民同士の相互理解を促進するなど、多文化共生の推進に取り組むこと。

全体の（総括的な）視点

まちづくりの目標、政策、施策名称については、行政や市民が主体的にまちづくりに参画する意欲が高まるような表現にされたい。

また、市の政策の方向性が見えにくい名称もあるため、具体的にどのような状態になっているのか、分かりやすい表現に改めること。

まちづくりの目標 3「魅力ある資源をいかし、都市の活力を創造するまち」

●政策「人と活力であふれる産業の振興」

商工業の振興に関して、労働力人口の減少や消費市場の縮小などが懸念される中、まちの活力を維持・向上させていくため、新しい産業の創出支援や戦略的な企業の誘致、生産性向上、高付加価値化、事業承継・引継支援などを通して、地域の稼ぐ力を向上させること。

また、未来を担う若者を始めとしたあらゆる世代の働く場づくり、本市での就職希望者の適切なマッチングを促す仕組みづくりに取り組むなど、労働力不足への対策に取り組むこと。

●政策「地域活力の創造」

ブランド力の向上に関して、本市の様々な資源や魅力を市民も巻き込みながら情報発信するとともに、市民が地域に目を向け、地域の価値を再認識できるよう、シビックプライドの醸成に取り組むこと。

G7香川・高松都市大臣会合の実績をいかし、多種多様な観光戦略の中でも、開催地域を中心に大きな経済波及効果が期待できる MICE 誘致に戦略的に取り組むこと。

●政策「文化芸術・スポーツの振興」

市民の健康増進に関して、生涯スポーツに取り組む機会の更なる拡充を図ること。

また、スポーツを本市の強みとして、地域産業の活性化や観光・交流の推進などに積極的にいかしていくこと。

まちづくりの目標 4「安全・安心に暮らせるまち」

政策「災害・パンデミックに強い社会の形成」

近年、自然災害が激甚化、頻発化しており、自然災害に対する事前の防災・減災対策の推進に取り組むこと。

また、災害時に迅速かつ的確に対応するため、自主防災組織の機能維持や地域防災の担い手となる市民一人一人の防災意識の高揚を図るなど、自助、共助の活動を支援すること。

健康危機管理に関して、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応で得た経験をいかし、今後、新たな健康危機が発生した場合においても、健康危機管理体制を整備し、市民の安心を確保すること。

政策「安全・安心が守られる社会環境の充実」

消防団の充実に関して、若年層を含む市民に対し、地域消防の重要性について周知・啓発を図ること。また、消防団が活動しやすい環境の整備に取り組むこと。

全ての市民が交通事故や犯罪、消費者トラブル等に巻き込まれないよう、警察や防犯協会等の関係機関との連携による啓発、情報提供、各種地域防犯活動への支援を行うこと。

生活衛生の向上に関して、令和3年度行政評価の結果を踏まえ、改善すること。

政策「暮らしを支える生活環境の向上」

空き家等対策に関して、人口減少、少子・超高齢社会の進行に伴う空き家等の増加を想定し、的確な対策の推進に取り組むこと。

道路・橋りょうの整備に関して、道路照明灯の設置やバリアフリー化により、全ての歩行者が安全、安心、快適に通行できる環境の整備に取り組むこと。

全体の（総括的な）視点

人口減少、少子・超高齢社会の進行に伴い、公助の充実がより重要であるため、

社会情勢の変化に対応した新たなモデルづくりに取り組んでいくこと。

また、独居世帯、特に障がい者・高齢者の独居世帯の急激な増加が予想されるため、災害発生時の対策を含め、あらゆる施策を展開していく上で念頭に置くこと。

公共施設・社会基盤の老朽化への対応については、維持保全費用の縮減や保有総量の適正化を図ること。

まちづくりの目標 5 「都市機能と自然が調和し、快適さと利便性を兼ね備えたまち」

政策「機能性の高い都市空間の形成」

コンパクトシティの推進に関しては、自然の豊かさと都市としての便利さをいかした土地利用の最適化の推進のため、持続可能なまちづくりという長期的なビジョンの下、土地利用の動向に対して具体的な方策を検討すること。

また、都市拠点の中核を担う中心市街地を活性化させ、多様で魅力的な都市機能を備える地域の拠点にも機能的な都市空間を形成するなど、市内地域それぞれのバランスにも十分配慮しながら取り組むこと。

政策「交流・連携を支える都市交通の充実」

全ての市民が過度に自動車に依存しないライフスタイルを実現できるよう、環境負荷低減にもつながる公共交通や自転車の利便性を向上し、啓発活動（モビリティ・マネジメント）による自動車からの転換（モーダルシフト）を図ること。

また、交通事業者だけでなく地域住民をはじめ地域の多様な関係者とも連携を図りながら、需要に対して最適な公共交通サービスを提供し、地域の実情を踏まえた効率的で持続性の高い公共交通網の構築を推進すること。

政策「環境と共存する脱炭素社会の実現」

ゼロカーボンシティの実現に関して、市民や事業者、関係機関と連携を図りながら、より多くの市民が環境問題について自ら考える脱炭素ライフスタイルの普及促進に取り組むこと。

また、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギー対策、脱炭素に資するモーダルシフト、ごみの排出抑制や再使用、いわゆる 2R などに積極的に取り組み、ゼロカーボンシティの実現に向け、リーダーシップを発揮していくこと。

全体の（総括的な）視点

世界の共通目標である SDG s は、総合計画の基本構想と目標を同じとするものであり、広く市民にも周知・啓発していくこと。

まちづくりの目標 6「さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち」

政策「地域社会を支える連携・協働の推進」

地域コミュニティの活性化に関して、時代の変化や社会の変容に即した在り方を検討し、地域コミュニティ活動を担う人材の確保・育成や活動への更なる支援を行うこと。

また、地域コミュニティ協議会事務局における組織の透明性を高め、自主財源を確保するなど、NPO 法人等への組織改編に向けた支援を積極的に行い、地域コミュニティの自立・活性化を図ること。

市民と参画・協働のまちづくりに関して、市民の参画を更に進めるという視点に立ち、市民からの事業提案など、新たな協働の仕組みづくりに取り組むこと。

また、市民活動団体が専門性をいかし、地域づくりに一層参画できる仕組みづくりと市民活動団体の組織の更なる活性化、人材の育成に取り組むこと。

政策「自立的で推進力のある行財政運営の確立」

スマートシティの推進に関しては、行政事務の効率化はもとより、高齢者などデジタルデバイド対策に取り組みながら、今後も複雑化・高度化していく地域課題の解決を図り、その恩恵を受けられるよう進めること。

今後も厳しい財政状況が続くと想定される中、行財に期待される役割は多様化していることから、行財政運営のより一層の効率化に取り組むこと。

また、社会情勢の変化を踏まえ、事業の見直しや優先順位の整理を行いながら、真に必要な施策を見極め、実行することにより、将来にわたり持続可能な行財政基盤を確立すること。

全体の（総括的な）視点

総合計画の推進に向け、中長期的な成果指標を設定すること。

次期高松市総合計画の目指すべき都市像等についての御意見記載用紙

委員氏名

--

次期高松市総合計画の目指すべき都市像等において、御意見がある場合、御提出ください。

送付先 〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号
高松市役所
市民政策局政策課 前場・好井
TEL 839-2135 FAX 839-2125
メールアドレス seisaku@city.takamatsu.lg.jp